学校番号	４０９

平成 31 年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術１」　（光村出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・課題作品ごとに到達目標と観点を提示します。それを基に自分の主題を生成し、自分の目で見て、自分の頭で考えて、自分の行動で制作してください。
・「自分とは何か」という問いを深め、表現することで自分をより深く理解していきましょう。
・「他者と自分の関わり合い」を意識し、表現することで他者とのつながりを認識しましょう。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートやレポート、作品で評価します。課題作品の提出期限を守りましょう。
・美術の授業では、感性を高め、表現力と鑑賞の能力を伸ばし、美術が生徒みなさんの生涯にわたり、心や生活を豊かにしていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	授業態度の観察 ワークシート 作品	制作状況の観察 ワークシート 作品	制作状況の観察 ワークシート 作品	鑑賞態度の観察 レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	カラーチャート	色相環を学び、デカルコマニーとストライプを使って抽象構成をする。	○	○	○		a:抽象表現に関心をもち、デカルコマニーとストライプの技法や構成などを主体的に生かし、表現方法を創意工夫しながら、主題を追及して表現しようとしている。 b:デカルコマニーの表現方法の特性やストライプの構成などを工夫して、抽象構成に生かし、創造的な表現の構想を練っている。 c:デカルコマニーの技法やストライプの構成を理解し、抽象構成の目的や意図に応じて、抑制や効果を生かして表現している。	授業態度 制作状況 作品
1学期	心の世界の表現	アクリル画により自分の心の中に深く根ざしている風景を形にする。	○	○	○	○	a: 表現「心の風景」というテーマを基に、自分の心の中に深く根ざしている風景を、自己の内面を見つめ、主体的に主題を生成して構想を練ったり、主題を追及して表現したりしようとしている。鑑賞ほかの生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めようとしている。 b:対象や自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成している。 c:意図に応じてアクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及し表現している。 d:ほかの生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	授業態度 制作状況 作品 鑑賞態度

2学期	立体	一片 12 ㎝の立方体の中に自分の世界を表現する。	○	○	○		a: 「一片 12 ㎝の立方体の中に自分の世界を表現する」というテーマを基に感じ取ったことや考えたことを、夢や想像などから表現することに関心をもち、主体的に主題を生成し、形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 b:主題を効果的に表現するために一片 12 ㎝の立方体の空間を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:表現したい意図を大切にして、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、主題を追及して表現している。	授業態度 制作状況 作品
2学期	幻想絵画	遠近感や常識をはずれた世界で自由に遊び、自分を表現する。	○	○	○	○	a:表現「幻想絵画」というテーマを基に遠近感や常識をはずれた世界で自由に遊び、自由な発想で主題を生成し、自分を表現しようとしている。鑑賞ほかの生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めようとしている。 b:主題を効果的に表現するために、形式、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c: 遠近感や常識をはずれた世界で自由に遊び、自由な発想で表現するために、より効果的な表現方法を工夫して試行錯誤し、主題を追及し表現している。 d: ほかの生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	授業態度 制作状況 作品 鑑賞態度

3学期	7つの扉7つの世界	画用紙を半分に折り、表紙装飾した後7つの自由な形をした扉を開ける。そこに7つの世界を表現する。	○	○	○		a:「７つの扉７つの世界」というテーマを基に、美術の創造活動の喜びを味わいながら、主体的に主題を生成して構想を練り、主題を追及して表現しようとしている。 b:「７つの扉７つの世界」というテーマを基に、感性や想像力を働かせて主題を生成し、７つの扉を開くと７つの世界が広がる形式を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して、創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及し表現している。	授業態度 制作状況 作品

※　表中の観点について　a:美術への:関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。